

2020 年度 地域連携活動報告書

連携先名称：日本郵便株式会社

協定締結日：記入不要

活動状況：継続中

連携先窓口：事業開発推進室デジタルビジネス戦略部 鈴木雄輔氏

活動資金：大学予算

担当教員(所属)：峯 洋子 (農学科)

活動体制 (単位)：大学

関連教員(所属)：なし

活動目的：

1. 農業及び関連産業の活性化に向けた連携

- ・長野市の日本郵便信越研修センター内グラウンドに 2018 年建設したビニルハウスにおいて、砂栽培 (トレファーム®) による高糖度トマト生産の実証試験を実施する。
- ・難易度が高く熟練の技を必要とする高糖度トマト生産を、農業未経験者でも実施可能にするためのシステムを構築する。

2. 人材育成に関する連携

活動内容・成果：

1. 農業及び関連産業の活性化に向けた連携

- ・プロジェクトの成果物である糖度 8 以上のフルーツトマト「さやまる」を日本郵便が販売 (2020 年 2 月~6 月)
- ・フルーツトマトの端境期である夏に、糖度 6~8 の良食味トマト「さやまるプロジェクトの朝採り完熟トマト」を日本郵便が販売 (2020 年 7 月~)
- ・農大ショップでの上記「朝採り完熟トマト」の販売 (2020 年 10 月~)



- ・令和3年度園芸学会春季大会にて「砂栽培による高糖度トマト生産の実証試験」の発表
(2021年3月27日~28日)

※添付の販売用POP、ショップカード、学会発表ポスターを参照



2. 人材育成に関する連携

- ・日本郵便長野農場での生産開始に向けた日本郵便社員のトマト栽培研修 (2018年)
- ・長野農場での栽培試験における農学科学生の支援活動 (2020年12月1日学生2名)

課題・改善点：フルーツトマト周年生産において夏場の品質低下と裂果多発が課題となっており、対策として培地冷却を試みる必要がある。

